

# 高知県感染症発生動向調査（月報）

2018年11月

高知県感染症情報センター  
高知県衛生研究所  
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>  
E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

## 全国情報

第44週(10月29日～)から第48週(～12月2日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における11月の上位6疾患の合計は4週間換算すると44.09で10月の34.54と比べて増加した。主な増加の原因は感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の増加である。

1位は感染性胃腸炎で4週間換算値が23.50(10月1位13.79)と増加した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.54(同2位6.36)と増加した。3位は流行性角結膜炎で3.37(同5位3.60)と横ばいであった。4位は手足口病で2.88(同4位3.94)と減少した。5位は伝染性紅斑で2.57(同7位1.68)と増加した。6位はRSウイルス感染症で2.22(同3位4.58)と減少した。

関東中心にはじまった、風疹が流行拡大し続けている。第42週から第46週(11月18日)までに、合計752例の風疹の報告があった。その結果、本年の報告が累積で2186例(うち2062例が検査診断例)になった。累積数を都道府県別でみると、多い順に、東京都が763例、千葉県310例、神奈川県295例、埼玉県147例、愛知県103例である。四国では、第46週までに7例(香川県から6例、愛媛県から4例、徳島県から3例)の報告がある。49週(11月30日)に、ついに高知県高知市保健所管区から成人の風疹が1例報告された。確実に全国的な流行となっており、高知県では20年以上にわたって本格的な流行がなかったこと、予防接種未施行者(すなわち風疹感受性者)が中年～壮年者に数多く存在することなどから、本格的な流行となる危惧が現実となりそうである。

2012年(2,386人が報告)～2013年(14,344人が報告された)の全国での風疹流行で、45人が先天性風疹症候群を発症したことは記憶に新しい。来年に向けて本県を巻き込んだ大きな流行になる可能性が高く、対策を講じなければならない。

麻疹風疹ワクチン定期接種の対象者(1歳児と就学前の児)はすぐに接種を済ませることが第一である。厚生労働省が8月14日に通達を出しているように、「30～50歳台男性の2割程度に抗体価の低い方がいるので、この世代では風疹を意識した診療をこころがけるよう注意喚起し、特に妊娠可能年齢の女性のうち、抗体価が低い女性において任意で予防接種を受けることを推奨する」。

風疹は臨床診断の難しい疾患である。発疹性疾患を診たら、積極的に咽頭スワブと尿の両者を採取し、衛生研究所に検査を依頼することが重要である。風疹IgM抗体は疑陽性が少なくないので単独での診断は推奨されない。

沖縄県、愛知県などで輸入例を発端に麻疹が流行していたが、新たな報告は減少した。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	44週	45週	46週	47週	48週	計
1	感染性胃腸炎		4.14	5.44	5.91	6.00	7.89	29.38
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.90	2.43	2.43	2.40	2.77	11.93
3	流行性角結膜炎		0.80	0.87	0.79	0.82	0.93	4.21
4	手足口病		0.77	0.76	0.79	0.65	0.63	3.60
5	伝染性紅斑		0.44	0.64	0.61	0.65	0.87	3.21
6	RSウイルス感染症		0.62	0.60	0.56	0.50	0.50	2.78

## 県内情報

全国との対比(定点当たり報告数)

高知県の11月の上位6疾患の合計は4週間換算すると22.68で10月の26.67と比べて減少し、全国よりも少なかった。(表2)。上でも述べたとおり、高知県で49週に風疹が1例報告されており、今後の流行が危惧される。

1位は感染性胃腸炎で4週換算値が10.11(10月2位6.24)と増加した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で4.56(同2位3.47)、3位は流行性角結膜炎で2.40(同11位0.33)とともに増加した。4位は手足口病で2.32(同3位3.56)と減少した。5位は突発性発疹で1.71(同8位1.10)と増加し、全国と同等だった。6位はRSウイルス

感染症で1.58（同1位8.97）と減少した。突発性発疹を除く5疾患はいずれも全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	44週	45週	46週	47週	48週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		1.53	2.47	2.37	3.10	3.17	12.64
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.97	1.03	1.10	1.10	1.50	5.70
3	流 行 性 角 結 膜 炎		0.67	0.33	0.67	1.33	0.00	3.00
4	手 足 口 病		0.43	0.57	0.50	0.73	0.67	2.90
5	突 発 性 発 疹		0.33	0.57	0.57	0.27	0.40	2.14
6	RS ウ イ ル ス 感 染 症		0.37	0.63	0.27	0.30	0.40	1.97

## 2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

## 3. 主な疾患の発生状況

### 1) インフルエンザ

報告数 13名（10月 2名）。9月に29名と小流行がみられたが、10月2名、11月13名で、週毎に増加という様相でもなく散発的で本格的流行はまだのようだ。高知市から7名、中央東、中央西から各2名、須崎、幡多から各1名報告された。ウイルスは検出されていない。

### 2) 咽頭結膜熱

報告数 32名（10月 34名）。高知市、須崎、中央西、幡多、安芸から表記の順に多く報告があった。ウイルスはAdenovirus 1型が1件と、感染性胃腸炎からAdenovirus 2型が1件、その他の感染症から3型が1件、11型が2件検出された。

### 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 171名（10月 104名）。平年並みの報告数である。安芸以外から報告があり、特に高知市、須崎中央東から多かった。細菌は *Streptococcus pyogenes TB3264* が2件検出された。

### 4) 感染性胃腸炎

報告数 379名（10月 187名）。増加したがそれでも例年と比べ少なめの報告数である。県下全域から報告があり、とくに安芸、高知市、須崎からの報告が多い。病原体は、Sapovirus genogroup unknownが3件、Adenovirus 2型が1件、Coxsackievirus A4が1件検出された。

### 5) 水痘

報告数 32名（10月 15名）。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。幡多、高知市、中央東、中央西、須崎から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

### 6) 手足口病

報告数 87名（10月 107名）。初夏に流行が始まる感染症で、2017年は5月から流行が開始し、過去10年で最大の流行となった。8月以降は減少増加をくりかえし、2018年に入っても完全に終息しないまま、5月から再び流行期に突入したが、昨年よりも流行規模は小さく平年並みであった。中央東、中央西、高知市、須崎から表記の順に多く報告された。ウイルスはEnterovirus 71が昨年10月4件、11月2件、12月1件、本年1月2件、2月1件、4月に2件、5月に2件、6月は5件、7月は9件、8月は3件、9月に2件検出された。Coxsackievirus A16の検出が7月1件、8月5件、9月7件、10月は2件と遅れて目立ってきていて、流行ウイルスのシフトが認められた。11月はRhinovirusが2件、Coxsackievirus A4が1件検出された。

### 7) 伝染性紅斑

報告数 29名（10月 22名）。平年並みの推移である。中央東、高知市、須崎、中央西から表記の順に多く報告された。ウイルスはParvovirus B19が1件検出された。

8) 突発性発疹

報告数 64名 (10月 33名)。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 12名 (10月 84名)。例年6-7月から流行がみられるが、本年は遅れて8月から増加してきた。そのため、9月は同時期として過去10年間で最多、10月は2番目に多い報告数だったが終息に向かっている。須崎、幡多、中央東、高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 7名 (10月 5名)。昨年夏以降は、少ない数字で推移している。須崎、幡多、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

11) RSウイルス感染症

報告数 59名 (10月 269名)。2017年の8-9月は季節外れの爆発的流行となった。9月は過去10年間ですべての月間報告数のうちで最多であったが、10月は減少に転じ11月以降は半減、以後は徐々に減少していた。2018年も昨年同様に夏季からの流行開始で、9月としては昨年に次ぐ大きな流行になったが10月、11月と減少した。県下全域から報告があり、とくに中央西、高知市から多く報告された。ウイルスは検出されていない。

12) 流行性角結膜炎

報告数 9名 (10月 1名)。8月は過去10年間で最多の報告を記録した。高知市のみから9名報告された。ウイルスは検出されていない。

13) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 2名 (10月 0名)。高知市から30代、70歳以上の高齢者の2名が報告された。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。

14) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (10月 0名)。前年から少ない報告数で推移している。

15) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 10名 (10月 13名)。高知市と中央東から報告された。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 25名 (10月 7名)。例年並みの変動の範囲である。幡多、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (10月 0名)。2018年は報告は6月に1例の報告があった。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例の報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会  
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（平成30年11月）

類型	病名	報告月										総計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		11月
2	結核	4	11	14	12	8	6	8	6	5	6	14	94
3	腸管出血性大腸菌感染症							1	2	1			4
4	日本紅斑熱				1	4	3	2		1	2		13
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症		1						2	3	1	1	8
	重症熱性血小板減少症候群					4	1						5
5	アメーバ赤痢						1			2			3
	ウイルス性肝炎										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1		1		5	6	2	1	3	20
	急性弛緩性麻痺										1		1
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1										1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1			1		1		1			6
	後天性免疫不全症候群	2		3	2	1							8
	ジアルジア症		1										1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	1	2		1		1		1	7
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	3		2	1			1			1	14
	水痘（入院例に限る）								1			2	3
	播種性クリプトコックス症	1	2						1				4
	梅毒	3	1	1	2	3	1	1	3	2			17
	百日咳	13	24	16	16	35	11	21	18	6	1	4	165
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1
	総計	32	45	36	36	60	23	40	40	24	13	28	377

# 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2018年

11月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ		2	7	2	1	1	13	2	14
小児科	咽頭結膜熱	1		22	3	3	3	32	34	16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23	128	2	14	4	171	104	194
	感染性胃腸炎	41	62	177	19	26	54	379	187	543
	水痘		7	14	2	1	8	32	15	65
	手足口病		48	25	12	2		87	107	114
	伝染性紅斑		11	16	1	1		29	22	5
	突発性発疹	3	11	34	6	5	5	64	33	46
	ヘルパンギーナ		4	2		3	3	12	84	51
	流行性耳下腺炎		1	2		2	2	7	5	7
	RSウイルス感染症	1	12	27	13	3	3	59	269	171
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			9				9	1	3
STD	性器クラミジア感染症								2	1
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									1
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎			2				2		3
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎		1	9				10	13	6
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			3				3	2	1
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)		1	1				2		1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	19			4	25	7	37
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									1
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		46	185	497	60	61	87	936	887	1,280
前月		29	139	470	89	57	103			
前年同月		95	232	620	57	54	222			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

## 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

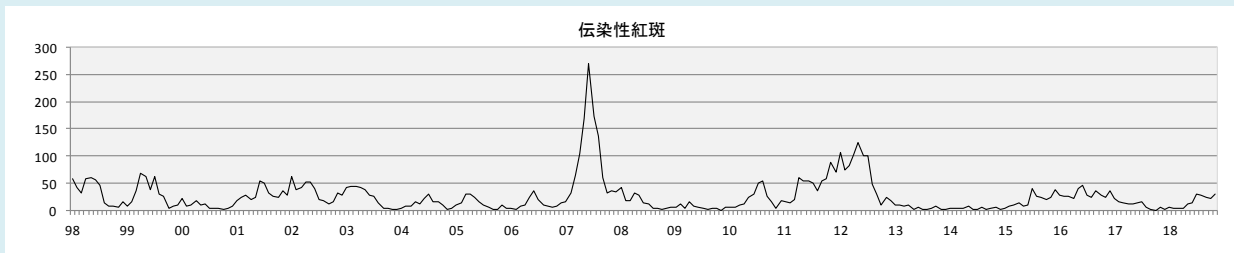
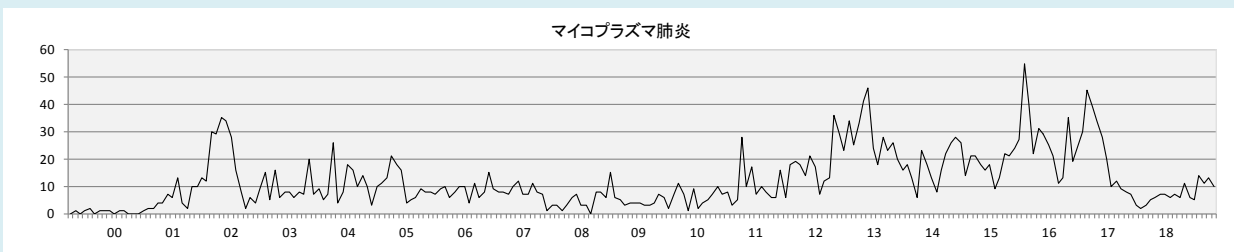
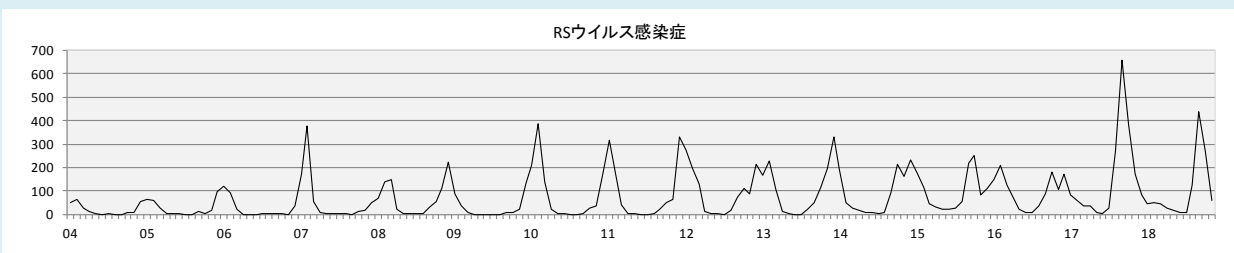
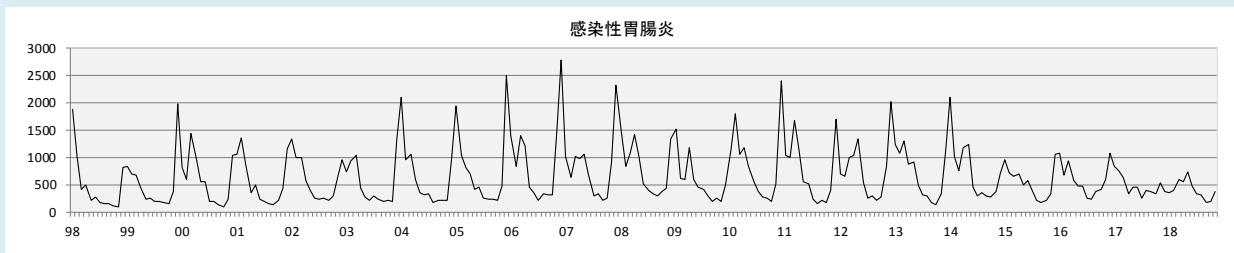
2018年

11月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所								計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
内科・小児科	インフルエンザ		0.18	0.44	0.40	0.25	0.13		0.27	0.04	0.29	
小児科	咽頭結膜熱	0.50		1.99	1.00	1.50	0.60		1.07	1.13	0.54	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.28	11.64	0.67	7.00	0.80		5.70	3.47	6.47	
	感染性胃腸炎	20.50	8.86	16.10	6.34	13.00	10.80		12.64	6.24	18.09	
	水痘		1.00	1.26	0.66	0.50	1.60		1.07	0.51	2.17	
	手足口病		6.85	2.27	4.00	1.00			2.90	3.56	3.80	
	伝染性紅斑		1.58	1.44	0.33	0.50			0.96	0.73	0.17	
	突発性発疹	1.50	1.57	3.09	1.99	2.50	1.00		2.14	1.10	1.52	
	ヘルパンギーナ		0.56	0.18		1.50	0.60		0.39	2.80	1.70	
	流行性耳下腺炎		0.14	0.18		1.00	0.40		0.23	0.17	0.24	
	RSウイルス感染症	0.50	1.73	2.45	4.33	1.50	0.60		1.97	8.97	5.70	
眼科	急性出血性結膜炎											
	流行性角結膜炎			9.00					3.00	0.33	1.00	
STD	性器クラミジア感染症									0.33	0.17	
	性器ヘルペスウイルス感染症											
	尖圭コンジローマ										0.17	
	淋菌感染症											
基幹	細菌性髄膜炎			0.40					0.26		0.39	
	無菌性髄膜炎											
	マイコプラズマ肺炎		1.00	1.80					1.26	1.63	0.76	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.60					0.39	0.26	0.13	
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)		1.00	0.20					0.26		0.13	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2.00	3.80			4.00		3.13	0.88	4.63	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										0.13	
	薬剤耐性緑膿菌感染症											
小児科定点分計		23.00	25.75	41.04	19.72	30.25	16.53	29.34	28.72	40.69		
前月		14.50	19.38	40.76	29.52	28.50	20.40					
前年同月		39.50	31.85	53.83	18.58	27.00	43.38					

注目される疾患別月別推移



## 高知県感染症情報(月報)

平成30年11月

## 検査情報

## ウイルス、細菌の分離状況

11月はウイルス58件、細菌3件の搬入があり、そのうちウイルス27件、細菌2件の病原体を検出し、また、平成30年10月に搬入された検体でウイルス9件、細菌3件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 1 1件、Adenovirus 2 3件、Adenovirus 3 1件、Adenovirus 11 2件、Astrovirus 3 1件、Coxsackievirus A4 2件、Coxsackievirus A9 1件、Coxsackievirus A10 1件、Cytomegalovirus 2件、Echovirus 7 1件、Enterovirus 68 2件、Enterovirus 71 1件、Human herpes virus 6 1件、Human herpes virus 7 4件、Human metapneumovirus 1件、human parvovirus B19 1件、Rhinovirus 8件、Sapovirus genogroup unknown 3件であった。また、細菌の内訳は、Enteropathogenic *Escherichia coli* OUT 1件、*Streptococcus pyogenes* T3264 4件であった。

## ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	4	男	咽頭結膜熱	嘔吐、嘔気、	ぬぐい液	10/15	Enterovirus 71
2	10ヶ月	男	ヘルパンギーナ	39℃、	ぬぐい液	10/18	Coxsackievirus A10
3	3	男	—	38℃、咳嗽、	ぬぐい液	10/19	Rhinovirus
4	14	女	細菌性腸炎	39℃、下痢、腹痛、	ふん便	10/22	Enteropathogenic <i>Escherichia coli</i> OUT
5	3	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃、上気道炎、	ぬぐい液	10/24	<i>Streptococcus pyogenes</i> T3264
6	8ヶ月	女	上気道炎	40℃、嘔吐、嘔気、上気道炎、	ふん便	10/24	Echovirus 7
7	2	男	呼吸器感染症	38℃、咳嗽、気管支炎、	鼻咽腔ぬぐい液	10/25	Enterovirus 68
8	1	男	肺炎	肺炎、発疹、	ぬぐい液	10/25	Human herpes virus 6
9	9	男	急性咽頭炎	38℃、	ぬぐい液	10/26	Rhinovirus
10	1	女	—	下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	10/29	Adenovirus 2
11	6	女	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39℃、上気道炎、	ぬぐい液	10/29	<i>Streptococcus pyogenes</i> T3264
12	8ヶ月	女	呼吸器感染症	37℃、肺炎、	鼻咽腔ぬぐい液	10/29	Human metapneumovirus
13	7ヶ月	女	感染性胃腸炎	39℃、上気道炎、	ふん便	10/29	Adenovirus 3
14	10	男	頸部リンパ節腫大	39℃、	ぬぐい液	10/30	Human herpes virus 7
15	37	男	頸部リンパ節腫大(小指頭大までが++)	38℃、	ぬぐい液	10/30	Adenovirus 11
16	1	男	感染性胃腸炎	下痢、	ふん便	10/31	Adenovirus 2 Sapovirus genogroup unknown
17	1	女	呼吸器感染症	40℃、咳嗽、気管支炎、肺炎、	鼻咽腔ぬぐい液	10/31	Enterovirus 68
18	7	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃、上気道炎、	ぬぐい液	11/1	<i>Streptococcus pyogenes</i> T3264
19	14	男	—	39℃、	尿	11/1	Adenovirus 11
20	2ヶ月	男	—	39℃、発疹、	ふん便	11/3	Coxsackievirus A9
21	4	女	不明発疹症	発疹、	ぬぐい液	11/5	Human herpes virus 7
22	1	男	手足口病	下気道炎、	ぬぐい液	11/5	Rhinovirus
23	1	男	突発性発しん	40℃、下痢、	ふん便	11/7	Adenovirus 2
24	2	男	—	39℃、	ぬぐい液	11/8	Cytomegalovirus
25	3	女	インフルエンザ様疾患	39℃、下気道炎、	鼻汁	11/8	Rhinovirus
26	3	男	手足口病	37℃、発疹、	ぬぐい液	11/9	Rhinovirus
27	3	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39℃、咳嗽、上気道炎、	ぬぐい液	11/9	<i>Streptococcus pyogenes</i> T3264
28	1	女	咽頭結膜熱	上気道炎、結膜炎、	ぬぐい液	11/9	Adenovirus 1
29	1	女	気管支炎	40℃、咳嗽、上気道炎、気管支炎、	吸引鼻汁	11/9	Adenovirus 3
30	4ヶ月	女	不明発疹症	39℃、発疹、	ぬぐい液	11/10	Rhinovirus
31	4ヶ月	男	川崎病	39℃、上気道炎、	鼻腔	11/14	Rhinovirus
32	7	男	伝染性紅斑、りんご病	38℃、上気道炎、	ぬぐい液	11/15	human parvovirus B19
33	1	女	不明発疹症	38℃、発疹、	ぬぐい液	11/16	Cytomegalovirus
34	1	女	感染性胃腸炎	下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	11/17	Coxsackievirus A4 Sapovirus genogroup unknown
35	2	女	不明発疹症	40℃、発疹、	ぬぐい液	11/19	Rhinovirus
36	1	男	手足口病	40℃、上気道炎、	ぬぐい液	11/19	Coxsackievirus A4
37	15	男	感染性胃腸炎、無菌性髄膜炎	39℃、下痢、腹痛、	ふん便	11/21	Human herpes virus 7
38	1	女	川崎病疑い	39℃、発疹、	鼻咽腔	11/22	Human herpes virus 7
39	3	男	感染性胃腸炎	下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	11/29	Sapovirus genogroup unknown



病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2018年											2018年 総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>			1			1		1					3
	<i>Streptococcus pyogenes T3</i>			1										1
	<i>Streptococcus pyogenes T4</i>				1		1		1					3
	<i>Streptococcus pyogenes T12</i>						1							1
	<i>Streptococcus pyogenes TB3264</i>					2		1	1		4	2		10
	計			2	1	2	3	1	3		4	2		18
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	17	12	7	1	1								38
	Influenza virus A H1pdm09	28	3		1									32
	Influenza virus B /Victoria	3	1		2									6
	Influenza virus B Yamagata	21	7	4	3									35
	計	69	23	11	7	1								111
咽頭結膜熱	Adenovirus 1	1					2					1		4
	Adenovirus 2	1	1		2	1		1						6
	Adenovirus 8								1	1				2
	Cytomegalovirus					1								1
	Enterovirus 71										1			1
	Herpes simplex virus 1								1					1
	Human herpes virus 6									1				1
	Rhinovirus			1							2			3
	計	2	1	1	2	2	2	2	2	3	1	1		19
感染性胃腸炎	Adenovirus 2			1		1		1	1	1		1		6
	Adenovirus 3										1			1
	Adenovirus 40/41				1									1
	Adenovirus 41				1	2	1							4
	Astrovirus NT			1			1							2
	Coxsackievirus A4											1		1
	Coxsackievirus A9								1					1
	Echovirus 7								1					1
	Echovirus 11									1				1
	Enterovirus 71					1								1
	Enterovirus NT										1			1
	Human metapneumovirus								1					1
	Norovirus GI NT				1									1
	Norovirus GII NT	5	1	1	3	2	2	2	2					18
	Rotavirus group AG9				1		1							2
Rhinovirus								1		1			2	
Sapovirus genogroup unknown	2			2	4	1	1	3			2	3	18	
<i>Salmonella Enteritidis</i>						1		1	1				3	
	計	7	1	3	9	11	6	9	7	3	4	5		65
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A2								1					1
	Coxsackievirus A4									1	2			3
	Coxsackievirus A9							1		1				2
	Coxsackievirus A10										1			1
	Cytomegalovirus					1								1
	Enterovirus 68										1			1
	Human herpes virus 6									2				2
	Parainfluenza virus 3									1				1
	計					1		1	4	3	3			12
手足口病	Adenovirus 1				1			1						2
	Coxsackievirus A4											1		1
	Coxsackievirus A9								1	1				2
	Coxsackievirus A16								1	5	7	2		15
	Cytomegalovirus								1	1	1			3
	Enterovirus 71	2	1		2	1	3	7	2	2				20
	Echovirus 7				1									1
	Epstein-Barr virus	1												1
	Human herpes virus 6					1								1
	Human herpes virus 7						2		1					3
	Human parvovirus B19									1				1
	Herpes simplex virus 1				1	2		1						4
	Rhinovirus						3	5		1	1	2		12
	計	3	1		5	4	8	17	10	12	3	3		66

臨床診断名	病原微生物	2018年											2018年 総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
流行性角結膜炎	Adenovirus 2													1
	Astrovirus NT								1					1
	Rhinovirus							1						1
	計							1	1					2
伝染性紅斑	Cytomegalovirus					1								1
	Coxsackievirus A9							1						1
	Herpes simplex virus 1							1						1
	Human herpes virus 7								1					1
	Human metapneumovirus			1										1
	Human parvovirus B19											1		1
	Rhinovirus							1		1				2
	計			1		1		3	1	1		1		8
流行性耳下腺炎	Epstein-Barr virus										1			1
	Human herpes virus 7										1			1
	Mumps virus													
	Parechovirus 1							1						1
	計							1			2			3
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4	1												1
	Echovirus 7									1				1
	Human herpes virus 7							1				1		2
	Herpes simplex virus 1							1						1
	Parechovirus 3							1						1
	Rhinovirus									1				1
	計	1						3		2		1		7
RSウイルス感染症	Coxsackievirus A4									1				1
	Respiratory syncytial virus								1	3				4
	Respiratory syncytial virus A	1												1
	Respiratory syncytial virus B					1								1
	Rhinovirus					1								1
	計	1				2			1	4				8
水痘	Varicella-zoster virus													
	計													
突発性発疹	Adenovirus 2											1		1
	Cytomegalovirus					2								2
	Enterovirus 71						1							1
	Human herpes virus 6	1			1									2
	計	1			1	2	1					1		6
その他	Adenovirus 1					1			1					2
	Adenovirus 2	1		1	1	5	1			1	2			12
	Adenovirus 3											1		1
	Adenovirus 5			1		1								2
	Adenovirus 8				1									1
	Adenovirus 11											2		2
	Adenovirus 41			1	1									2
	Adenovirus 54										1			1
	Astrovirus NT					1								1
	Coxsackievirus A4									3				3
	Coxsackievirus A9						2	20	2			1		25
	Coxsackievirus A10									1				1
	Coxsackievirus B2							1						1
	Coxsackievirus B4		1	1										2
	Cytomegalovirus	1		1			2	2	3			2		11
	Echovirus 7							1		1	1			3
	Echovirus 18										1			1
	Echovirus 25									1				1
	Enterovirus 68										1	1		2
	Enterovirus 71						1	2	1					4
Epstein-Barr virus	1	1					1	1		2			6	

